

第 22 回ペプチドフォーラム

「機能性分子としてのペプチドと医薬品創製」



日時：2016年3月5日（土） 受付開始 12:30～

会場：金沢大学 サテライト・プラザ（金沢駅よりバス約5分→武蔵ヶ辻で下車後、徒歩約3分）

〒920-0913 石川県金沢市西町三番丁 16 番地 金沢市西町教育研修館内

http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_koho/satellite/ Tel. 076-232-5343

参加費無料

主催：日本ペプチド学会 共催：日本薬学会、日本化学会 後援：北陸大学

オーガナイザー：興村桂子（北陸大学）、小野 慎（金沢工業大学）

ペプチドおよびタンパク質は医薬品創製の基盤物質であるだけでなく、生体内で重要な機能を担っており、細胞や細胞膜へのペプチド・タンパク質の多岐における作用は、生体機能の保持、各種疾患の原因およびその治療などに関わっています。また、生体機能分子としてのペプチドやタンパク質および関連技術は酵素、ペプチドホルモン、抗体等のバイオ医薬品、また遺伝子診断や遺伝子治療などを用いた個別化医療、分子標的薬、再生医療の分野などにも応用可能です。現在、日本発の医薬品創製が求められており、その礎として重要な位置にある分野です。

今回、ペプチドによる疾患の原因解明および治療、また、機能性分子としての応用および創薬を目的としてご研究されている7名の先生方に、ペプチドおよびタンパク質の機能および技術を基にした医薬品創製に役立つ話題をご提供いたします。

【プログラム】

- | | | |
|-------------|---|---------------------|
| 13:00～13:05 | 開会の挨拶 | 興村桂子（北陸大学） |
| 13:05～13:35 | 講演1 座長：小野 慎（金沢工業大学）
「合成糖鎖によるレクチン様分子シャペロンの基質認識機構の解明」 | 迫野昌文（富山大学） |
| 13:35～14:05 | 講演2 座長：藤井郁雄（大阪府立大学）
「非天然アミノ酸導入技術のバイオ医薬への応用展開」 | 芳坂貴弘（北陸先端科学技術大学院大学） |
| 14:05～14:35 | 講演3 座長：三原久和（東京工業大学）
「発癌関連ホスファターゼに対する新規基質同定法と阻害剤の開発」 | 中馬吉郎（新潟大学） |
| 14:35～15:05 | 講演4 座長：林 良雄（東京薬科大学）
「ペプチドを用いた細胞内デリバリー」 | 二木史朗（京都大学） |
| 15:05～15:20 | （休憩） | |
| 15:20～15:50 | 講演5 座長：興村桂子（北陸大学）
「特殊環状ペプチドによる人工細胞増殖因子の創製」 | 松本邦夫（金沢大学） |
| 15:50～16:20 | 講演6 座長：二木史朗（京都大学）
「膜脂質を動かすペプチドのデザイン」 | 中野 実（富山大学） |
| 16:20～16:50 | 講演7 座長：玉村啓和（東京医科歯科大学）
「ラミニンの活性ペプチドを用いた人工基底膜の創製」 | 野水基義（東京薬科大学） |
| 16:50～17:05 | 総合討論（藤井郁雄、三原久和、林 良雄、玉村啓和、小野 慎）
「機能性分子としてのペプチドと医薬品創製」 | |
| 17:05～17:10 | 閉会の挨拶 | 小野 慎（金沢工業大学） |
| 17:10～17:50 | ミキサー | |

事前参加登録：参加をご希望の方は2月29日（月）までに、事務局宛にメールでご登録ください。

（当日参加可）

【事務局・問合せ先】

〒920-1181 石川県金沢市金川町ホ3番地 北陸大学 薬学部 臨床薬学教育センター

興村桂子（おきむら けいこ）

E-mail: k-okimura@hokuriku-u.ac.jp

Tel. 076-229-1165

